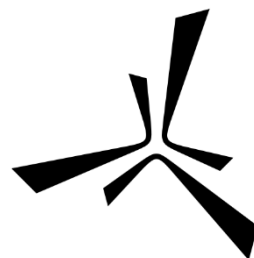


2025 年 10 月入学 広島市立大学大学院 国際学研究科博士前期課程 学生募集要項

海外学術交流協定大学推薦入試

本学所定様式（以下の出願書類は、別途ダウンロードしてください。）

- ・ 入学志願票
- ・ 履歴票
- ・ 推薦書



Hiroshima City University

発行：2025 年 4 月

1 アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため、次のような人の入学を求めています。

- ・ 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- ・ 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- ・ 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

国際学研究科では、次のような人の入学を求めています。

- ・ 国際社会やそれを構成する様々なコミュニティが抱える諸課題について、専門的なアプローチを用いて課題の発見や解決に取り組もうとしている人
- ・ 専門性を深めるために探究し、思考や議論を深めるための論理性や説得力を備えている人
- ・ 本研究科の研究分野に関する基礎知識及び研究に必要な語学力を有し、さらに専門的な知識や研究能力を高め、研究や職業に役立てようとする人
- ・ 本研究科での学びを通じて、自己研鑽に努めたい人

2 授与する学位の種類

国際学研究科博士前期課程では、修士論文等の内容および科目の履修状況によって、「修士（国際学）」、「修士（学術）」、「修士（平和学）」のいずれかになります。

3 募集人員

専攻	募集区分	募集人員
国際学専攻	海外学術交流協定大学推薦入試	若干名

※ 博士前期課程の授業は原則、日本語で行います。ただし、修士（平和学）の学位については、希望があれば英語で行う科目の受講と英語で修士論文を執筆することで学位を取得することができます。

4 出願資格

次の各号の要件を満たし、広島市立大学と学術交流協定を締結した外国の大学（以下「海外学術交流協定大学」という。）を卒業し、学士の学位を授与された者または 2025 年 9 月 30 日までに卒業見込である者となります。

- ① 海外学術交流協定大学の 2 名以上の教員（内 1 名は、所属学部または学科の長）の推薦が得られる者
- ② 日本語または英語で論文の執筆ができる者

※ 海外学術交流協定大学については、本学ウェブサイトでご確認ください。【トップページ＞大学について＞大学紹介＞基礎データ集＞2024 年 6 月版＞7. 国際交流（1）海外学術交流協定校】

5 出願手続

(1) 事前相談

志願者は**出願する前に**、8, 9 ページの「国際学研究科（博士前期課程）教員一覧」または本学ウェブサイト等を参照して、指導希望教員および研究群を選択し、**本学アドミッションセンターを通じて、指導希望教員と事前相談を行ってください。**

事前相談を行うためには、タイトルを「国際学研究科（博士前期課程）海外学術交流協定大学推薦入試事前相談」として、本文に**志願者氏名、指導希望教員**を明記し、4 ページ「(7) 出願書類等」の②履歴票および③研究計画書のデータを添付の上、下記期限までに E-mail を本学アドミッションセンター (nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp) 宛に送信してください。

〔事前相談受付期限〕 2025 年 4 月 24 日（木）（日本時間）

期限後に事前相談を希望される場合は、アドミッションセンターへご相談ください。

(2) 出願期間

2025 年 5 月 8 日（木）から 5 月 20 日（火）午後 5 時まで（必着、日本時間）

(3) 出願方法

指導希望教員との事前相談の後、出願書類を一括して封筒に入れ、**必ず出願期間内に到着するように郵送してください。**

封筒には「**海外学術交流協定大学推薦入試出願書類在中**」と赤字で記載してください。

※ 郵送には Express Mail Service (EMS) や DHL 等の追跡サービスの利用を推奨します。

※ 海外学術交流協定大学を卒業し、海外学術交流協定大学推薦入試に出願しようとする者で、既に来日している者は、出願手続等について本学アドミッションセンターに直接相談してください。

(4) 入学検定料の免除

入学検定料を免除します。

(5) 「修士論文」と「課題研究報告書」の選択について

本研究科では、修了要件の一つである論文等の作成について、「修士論文」あるいは「課題研究報告書」のいずれかを選択できます。これは、大学院で行われる研究や教育に対するニーズの多様化に合わせ、学術性の高い研究のみならず、専門的職業能力の向上や高度な教養の修得を目指す大学院生の修士号取得を奨励するためのものです。この制度の特徴は次のとおりです。

- ・ 「修士論文」は学術性の高い専門的な論文の作成を目指すものです。
- ・ 「課題研究報告書」は、専門的職業などについて特定の課題を設定し研究を行うものです。
- ・ **本研究科博士前期課程から同博士後期課程に進学を希望する場合は、「修士論文」を作成していることを推奨します。**
- ・ 「修士論文」と「課題研究報告書」の希望選択は出願書類提出時に行います。「志願票」の所定の箇所
で、一つ選択してください。
- ・ 大学院入学後に選択の変更を希望する事態が生じた場合、変更が認められることがありますが、これ
には主指導教員および副指導教員の承認が必要です。

※ 「修士論文」または「課題研究報告書」の選択は、**指導希望教員に出願前に相談してください。**

(6) 出願先および出願・受験に関する問い合わせ先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号

広島市立大学アドミッションセンター

電話 +81-82-830-1503

E-mail nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp

(7) 出願書類等

出願に必要な書類等		作成方法等
①	入学志願票	本学所定様式に必要事項を記入してください。記入にあたっては、欄外に記載した「 記入上の注意 」をよく読んでください。 また、出願前 3 か月以内に撮影した縦 4 cm×横 3 cm、上半身、無帽、正面向き、背景なしの写真の裏面に氏名、生年月日を記入し、のり付けしてください。 ※ 提出された写真は、入学後の学生証および本学の教務システムで博士前期課程修了まで使用します。
②	履歴票	本学所定様式に必要事項を記入してください。記入にあたっては、欄外に記載した「 記入上の注意 」をよく読んでください。
③	推薦書	本学所定様式を使用し、海外学術交流協定大学の 2 名以上の教員（内 1 名は、所属学部または学科の長）が作成したものを提出してください。 大学の公印が無い場合は、推薦者の直筆サインが必要です（電子署名不可）。
④	成績証明書	海外学術交流協定大学の学長または学部長が作成した 原本（コピー不可） を提出してください。
⑤	卒業（見込）証明書	在籍または出身大学の学長または学部長が作成した 原本（コピー不可） を提出してください。 卒業証明書と別個の学位証明書があれば、その原本（コピー不可）も一緒に提出してください。 ※ ④成績証明書に卒業（見込）年月日が記載されている場合は、学位証明書のみでも可とします。
⑥	日本語または英語能力を測定した検定試験の成績証明書 【日本語または英語を母語とする者は提出不要】	2023 年 4 月 1 日以降に受験した検定試験のうち、以下ア～オのいずれかのスコア証明書等の 原本とコピー 1 枚 を提出してください。原本は、試験終了後に返却します。 ア TOEIC®L&R（IP テストも可） イ TOEFL®（PBT または iBT） ウ IELTS™（Academic Module） エ 日本語能力試験（JLPT） オ 日本留学試験（EJU、必ず「日本語」科目を受験すること） ただし、TOEIC のスコア証明書を提出する場合は以下のとおり提出してください。 [マークシート方式] TOEIC デジタル公式認定証を印刷したもの 1 枚、または公式認定証原本とそのコピー 1 枚 [オンライン方式]※ スコア表示画面を印刷したもの 1 枚 ※ オンライン方式による試験のスコアを提出する場合は、監督者付きのスコアのみ認めます。監督者付きのスコアとは、オンライン試験中に試験監督者によるカメラ映像に基づく本人確認かつ監視を受けた試験によるスコアを意味します。

出願に必要な書類等		作成方法等
⑦	志願理由書	使用言語は日本語または英語とし、学部の研究レポートや卒業論文において、自分が特に興味を持って調査・研究した事柄に基づき、志望動機および大学院博士前期課程において集中的に研究したい課題について、具体的にまとめてください。 ※ 日本語の場合は2,000字程度、英文の場合は1,200 words程度で作成してください。
⑧	研究計画書	

(注1) ①, ②, ③の様式は、**2025年10月入学国際学研究科博士前期課程用**を本学ウェブサイトからダウンロードしてください。

(注2) ③, ④, ⑤のうち、**日本語または英語以外の外国語で書かれたものには、必ず日本語または英語の翻訳を添付してください。**

(注3) 作成方法の指示どおりに作成されていない書類がある場合（記入漏れ、翻訳未添付等）は、出願を受理しない場合があります。

(注4) 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できます。その場合は、改姓（名）の日付と新旧姓（名）を志願者本人が記入した文書（様式は任意）を添付してください。

(注5) 出願書類の作成・提出に当たっては、自らの責任において、十分に考えたものを提出してください。

(8) 出願上の注意事項

- ① 必要な書類がすべてそろっていない場合は受理できませんので、出願の際には十分確認してください。
- ② 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号、E-mail アドレスに変更があった場合は、速やかに本学アドミッションセンターまで連絡してください。
- ③ **一度受理した出願書類は返還しません。**
- ④ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実の発生や発見があった場合には、入学を取り消すことがあります。

(9) 受験番号の通知

出願締切後、入学志願票に記載の E-mail アドレス宛に受験番号を通知します。2025年6月6日（金）までに通知が届かない場合は、本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。

6 修学上の配慮を希望する場合

障害のある等の理由で修学上の配慮を希望する場合は、**2025年4月17日（木）までに**本学アドミッションセンターにお申し出ください。申請書の様式をお送りしますので、申請書等を下記申請期限までに本学アドミッションセンターに提出してください。

【申請書記載内容】

- ア 志願者の氏名、性別、住所、連絡先電話番号
- イ 入試区分、志望研究科等
- ウ 障害等の種類・程度（医師の診断書または障害者手帳（写）を添付してください。）
- エ 修学上の配慮を希望する事項
- オ 出身大学での授業等における配慮事項
- カ 日常生活の状況

※ 申請書に記載された個人情報、修学上の配慮内容を検討するために利用します。合格者決定に利用することはありません。

【提出期限】 **2025年4月24日（木）午後5時まで（必着、日本時間）**

7 個人情報の取扱い

- ① 出願書類等に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別その他）は、入学者選抜、合格通知、入学手続、調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）および奨学金等の案内を行うために利用します。
また、入学者についての同情報は、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請、授業料免除申請等）の業務を行うために利用します。
- ② 上記業務の一部は、個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じた上で、外部の業者に委託する場合があります。

8 入学者選抜方法

書類選考により合格者を決定します。

9 合格者発表

2025 年 6 月 24 日（火）正午（日本時間）

合格者には合格通知書を送付します。また、本学ウェブサイトでも合格者の受験番号を掲載しますが、参考情報ですので、合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお、電話、E-mail、郵便等による問い合わせには応じません。

10 入学手続

(1) 入学手続期間

2025 年 6 月 26 日（木）から 7 月 10 日（木）午後 5 時まで（必着、日本時間）

(2) 入学手続方法

- ① 入学手続に必要な書類は、合格通知書と一緒に直接本人に送付します。
- ② 入学手続は、提出書類を一括して封筒に入れ、**必ず入学手続期間内に到着するように郵送してください。**
※ 郵送には Express Mail Service (EMS) や DHL 等の追跡サービスの利用を推奨します。
- ③ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後に、入学許可書を送付します。

(3) 入学手続上の注意

- ① 期間内に手続を行わなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合には受理できませんので、書類の提出の際には、十分確認してください。
- ③ 一度受理した入学手続書類および入学料は返還しません。
- ④ 卒業見込で出願した者は、卒業後、速やかに卒業証明書を提出しなければなりません。入学日前日までに卒業できなかった場合は、入学を取り消します。

11 納付金等

(1) 入学手続までに納付するもの

納付金	金額
入 学 料	423,000 円

(2) 入学後に納付するもの

納付金	金額	納付時期
後援会費	20,000 円	10 月末まで
授 業 料 (年額 535,800 円)	267,900 円	4 月末まで
	267,900 円	10 月末まで

(注1) 後援会費には、学生教育研究災害傷害保険料・学生教育研究賠償責任保険料が含まれています。

詳細は入学手続時または入学後に案内します。

(注2) 授業料は、2025年4月現在の金額です。改定を行った場合には、改定時から新授業料を適用します。

(3) 奨学金

在留資格が「留学」の者は、地方公共団体、留学生支援団体等の奨学制度に応募できます。

(4) 入学料の減免

入学前1年以内において、学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合または入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合で、入学料の納付が著しく困難な場合には、入学料が減免される場合がありますので、ご相談ください。

(5) 授業料の減免

留学生を対象とした授業料の減免制度があります。入学後にご相談ください。

国際学研究科（博士前期課程）教員一覧

研究群	教員		担当授業科目	専門分野
国際関係研究群	教授	大庭 千恵子	ヨーロッパ国際関係史	ヨーロッパ国際関係史
	教授	金 栄鎬	東北アジア政治論	政治学・国際関係, 現代韓国朝鮮研究
	教授	古澤 嘉朗	紛争解決論, 平和構築論	紛争解決論, 平和構築論
	教授	吉田 晴彦	国際協力論	平和研究・国際協力論, 国際関係論
	准教授	飯島 典子	中国国際関係史	中国近代史, 華僑論
	准教授	板谷 大世	東南アジア政治論	東南アジア研究, 開発政治論, 政治学
	准教授	斎藤 祥平	ロシア国際関係史	ロシア研究
	准教授	武田 悠	日本政治外交論	日本政治外交史
	講師	長 史隆	アメリカ政治外交論	日米関係史, アメリカ政治
	講師	秦野 貴光	国際政治理論, 国際安全保障理論	国際政治理論, 国際安全保障論
公共政策研究群	教授	井上 泰浩	情報メディア論	マスメディア, 国際コミュニケーション
	教授	卜部 匡司	比較国際教育学, 持続可能な開発のための教育(ESD)論	比較国際教育学
	教授	太田 育子	国際法	国際法, 国際人権法
	教授	金谷 信子	非営利組織論, 社会政策論	非営利組織論, 公共政策, 社会福祉政策
	教授	佐藤 敦郎	行政学	行政学, 公共政策, 公共ガバナンス論
	教授	高橋 広雅	経済政策論	経済政策論
	教授	山口 光明	健康心理学	健康心理
	教授	山根 史博	環境経済学	環境経済学, 計量経済学, リスク認知学
	准教授	目黒 紀夫	国際開発学, 開発社会学／人類学	環境社会学, アフリカ地域研究, 国際 開発論
経営政策研究群	教授	李 在鎬	国際経営論	国際経営論, サプライ・チェーン・マネジメント論
	准教授	ARIF, Nurhaizal Azam	多国籍企業論	多国籍企業論, International Business
	准教授	井手吉 成佳	会計学	会計学, 国際会計論
	准教授	城多 努	公会計論	財務管理, 公会計
	准教授	高久 賢也	国際金融論	国際金融論, 国際マクロ経済学
	准教授	寺井 里沙	国際商務論	国際貿易論, 国際商務論
	准教授	李 玲	マーケティング論	国際マーケティング, グローバル・ブランド研究
	講師	山崎 雅夫	人的資源管理論	経営組織論, 人的資源管理論

研究群	教員		担当授業科目	専門分野
社会文化研究群	教授	WÖHR, Ulrike	ジェンダー論	日本研究, ジェンダー研究
	教授	田川 玄	アフリカ社会論, アフリカ文化論	文化人類学
	教授	湯浅 正恵	現代社会論	社会学, 国際社会論
	准教授	上尾 真道	現代思想	哲学
	准教授	田浪 亜央江	中東イスラーム社会論	中東地域研究, アラブ社会文化論
	准教授	山口 えり	日本文化史研究, 歴史資料研究	日本古代史, 国際日本学
	准教授	吉江 貴文	ラテンアメリカ文化論	文化人類学
言語文化研究群	教授	奥西 有理	英語教育論	英語教育学, 異文化間教育学
	教授	大場 静枝	フランス文学・文化論	フランス語圏の地域研究, フランス文学
	教授	CARSON, Luke	Cross-cultural Psychology and Communication	TESL/TEFL, 異文化間コミュニケーション
	教授	GORMAN, Michael	American Literature and Culture	アメリカ文学
	教授	森田 光宏	応用言語論	応用言語学
	教授	横山 知幸	翻訳論	翻訳論
	准教授	重田 美咲	日本語教育論	日本語教育学(専門日本語教育)
	准教授	藤原 優美	対照言語学	言語学(中国語と日本語の比較)
	講師	原 雅樹	イギリス文学・文化論	イギリス文学

備考1 教員および担当授業科目は2025年4月1日現在のものです。

2 2026年3月末退職予定教員は上記一覧に含まれていません。